

2026年8月5日

泌尿器科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「膀胱癌に対するロボット支援根治的膀胱全摘除術後の周術期成績および予後に関する後ろ向き研究」への協力のお願い

泌尿器科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年11月1日～2026年7月31日の間に、当科において、膀胱癌に対してロボット支援根治的膀胱全摘除術を受けられた18歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030年12月31日

研究目的・利用方法：

筋層浸潤性膀胱癌に対する標準治療は根治的膀胱全摘となっています。近年、周術期治療の改善、低侵襲手術の普及、術前化学療法の導入により治療成績の向上が期待されています。

本研究では、岐阜大学医学部附属病院泌尿器科で膀胱癌に対してロボット支援根治的膀胱全摘除術を受けられた患者さんを対象に、周術期成績および予後を明らかにすることを目的としています。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

患者背景：年齢、性別

一般身体所見：身長、体重、BMI、パフォーマンスステータス（ECOG, ASA）

病名、腫瘍の局在、基礎疾患、臨床病期、上部尿路手術の既往、術前および術後化学療法実施の有無、術前および術後化学療法の種類およびコース数、術前化学療法の効果

病理学的所見：尿管断端迅速病理診断結果、術後病期、摘出リンパ節個数、病理組織型、脈管侵襲の有無、断端陽性の有無

手術日、術中所見：同時上部尿路手術の有無、尿道切除の有無、リンパ節郭清実施の有無、尿路変向の術式の種類、術者、手術時間、コンソール時間（ロボット操作時間）、各手順の時間、出血量、自己血の有無、輸血の有無、術中合併症の性状と重症度

術後管理関連項目：飲水開始日、食事開始日、総入院期間、術後入院期間、術後90日以内の合併症発生の有無、術後合併症の性状とその重症度、再発転移の有無、再発の場所、再発転移日、再発後の治療、癌死日、最終生存確認日、転帰

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年8月7日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野

氏名：古家 琢也

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

電話番号：058-230-6000

氏名：谷口 友規

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp